

Weekly Bulletin 2014-2015



RI会長
デイリー C.K. ホン
(黄其光)



静岡東ロータリークラブ

会長/伊藤洋一郎 幹事/相原雄治

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
伊藤洋一郎

第 2679 回例会

(合同例会)

平成 26 年 8 月 8 日 天候 曇り

《司 会》 大林久人 君(静岡日本平 RC)

《合 唱》 「君が代」
「奉仕の理想」

《ゲスト》 地区ガバナー 岡本一八 様
ガバナー補佐 由利浩志 様
地区幹事 石原 実 様 他

《静岡日本平 RC 会長挨拶要旨》



皆さんこんにちは。本日は静岡東 RC との合同例会です。お客様の 2620 地区ガバナー 岡本様、ガバナー補佐 由利様、地区幹事 石原様、浜松北 RC 坂口様 御殿場 RC 芹沢様、ようこそおいで下さいました。ごゆっくりお過ごし下さい。

さて、日本の三大商人といえ、大阪商人、伊勢商人、そして近江商人といわれています。この近江商人の間で活動理念として有名なのが「三方よし」というのがあります。売り手よし 買い手よし 世間よしという三方よしの精神です。商売というのは、三方それぞれが喜んでもらうことによって社会貢献ができ、良い商売であるという、いわゆるソーシャルマーケティングだと思います。

私は結婚式の祝辞の中で、必ずこの「三方よし」

を使いますが、この場合には「お父さんよし お母さんよし 子供よし」という事にします。子供の虐待などもってのほかです、子供の為としてお父さんお母さんだけが苦勞をするというのも、家族のためにも良い事だとは思いません。それぞれが思いやりを持つ事が家族にとって大事であると、言うようにしています。

ロータリーには「4 つのテスト」というのがあります。近江商人にも商売十訓というのがある、必ずしも同一ではありませんが、その中に「みんなの為になるかどうか」は「無理に売るな 客の好むものも売るな 客の為になるものを売れ」と似ているような気がします。ロータリーのできる数百年も前に、この様な理念をもった商人がいたことを日本人として誇りにしたいと思います。近江商人の流れをくむ会社としてトヨタ自動車、伊藤忠商事、丸紅など一流企業がたくさんあります。

我々も、ロータリー活動をする時は「4 つのテスト」を、会社の仕事をする時は「三方よし」の精神を忘れないようにしたいものです。

《静岡東 RC 会長挨拶要旨》

ロータリーに輝きを



本日は、岡本ガバナーをお迎えしての静岡日本平ロータリークラブとの合同例会です。

岡本ガバナーようこそおいで下さいました。感謝申し上げます。

RI 会長は「ロータリーに輝きを」をテーマにロータリー活動の活性化を目指しておられます。そして岡本ガバナーは、その目標を受けて、各クラブの多様なクラブ運営を提唱され、合同例会をはじめとして会員交流を積極的に図り、仲間づくりをと述べております。本日の合同例会はその一環です。そこで、私たち、静岡東ロータリークラブは、まずはクラブ内の仲間意識を高めていくことを本年度の目標の一つに掲げています。ロータリアンというただ一点においてのみ「仲間」でありたいと思っています。

また岡本ガバナーは、よくご挨拶の中でガバナーとしての仕事のハードさは、若さを保つ秘訣であるということをおっしゃっておられます。私たち静岡東ロータリークラブの各会員も、岡本ガバナーの若さの活動に負けないよう、各会員がそれぞれ知恵を出し、あるいは金を出し、そして汗水を流してこの1年間を乗り切りたいと決意しています。

《岡本ガバナー挨拶要旨》



皆さん、こんにちは。ガバナーの岡本でございます。ガバナーを務めさせていただくにあたって、私もサンディエゴでの世界協議会で研修を受け、勉強してまいりました。本年度 RI 会長のゲイリー・C.K. ホアン会長が掲げたテーマは「ロータリーに輝きを」。これは各クラブ、そしてロータリアン一人ひとりが輝いていこう！ということです。実にわかりやすいと思います。未来志向で、皆さん一人ひとりがロータリーによって繋がったご縁を活かしながら、人間性を磨き、自分の仕事を活性化させ、利益を上げる。そしてその利益から自分が「これだ！」と思う奉仕活動にどんどん寄付をしていただく。それによってロータリーはますます輝いていきます。

私がロータリーに入ったのは、まだ若かりし頃でした。社員と飲みながらどんちゃん騒ぎをしていた若僧社長だった私に、同級生が「ロータリーに入ってもっと勉強しろよ」とアドバイスしてくれたのがきっかけでした。ロータリーに入会してなによりだったのは一流の品行方正な先輩方の仲間に入り、食事をして会話を重ねていくうちに、自分自身もその素晴らしい姿

を見て覚えることができたことです。ロータリーは出席すれば、各方面さまざまな分野の人たちからの情報が入ってきます。新聞にも載っていない「お金儲け」の情報を得ることができ、それが自分自身のためになるのです。

また、ロータリーは、誰が一番偉いということではなく、皆が平等です。そして交代で役を担い、社会に役立つ奉仕を行うことで、素晴らしい絆ができるのです。先輩からは「あなたに役がきたらハイか YES で返事をしなさい」と教えられました。何事も引き受けることでレベルが上がり一流になれるのです。

こんなに素晴らしいロータリーなので、自信を持って仲間を募っていきましょう。それには、次世代を担う若い人をどんどん入会させて、ロータリーで一人前に育てていこうではありませんか。今や、ロータリーに相応しい人だから入会させる、という時代ではありません。よちよち歩きのロータリアンでも、仕事を真面目にする人ならば一流のロータリアンになります。職業人を育て上げるのがロータリーなのです。今年度、新会員 200 名を目標に掲げました。皆さんそれぞれが、三人に声をかけてみてください。入る入らないにかかわらず、アプローチすることが大切です。

また、寄付について「自由」と打ち出したのは、「出さなくて良い」といっているではありません。決められた額ではなく、もっと余分に出してくださいということです。オールド会員は年金の半分ぐらい出すようなつもりでお願いします。お金の人はお金を出し、お金の無い人は知恵を出す、お金も知恵も無い人は汗を出す。そして、大口寄付者や会員増強に貢献した会員には、ホアン会長考案の「ハッピークラッチェ」で大いにたたえてあげてください。

今まさに時代はロータリークラブの分岐点にあると思います。長年のロータリーの歴史を重んじて、専門的に難しく解釈される方もいらっしゃいますが、私は、今の時代に即した解釈で、それがロータリーの多様性につながれば、必要に応じた変化は大切だと思っています。クラブ会員のためになっているのであれば、あらゆる面で変化・改革に挑戦していただきたいと思います。

こうして、クラブ公式訪問で各クラブを回って様子を聞くと、既に地域密着型で素晴らしい活動をしているクラブが沢山あり、とても嬉しく思います。皆さんに期待しています。これからますます力を合わせて、ロータリーを輝やかせていきましょう。

《スマイル報告》

岡本ガバナーをお迎えして、勝山会員他 33 名（出席者全員）からスマイルをいただきました。誌面の都合上、勝山会員のスマイルのみ以下にご紹介させていただきます。あらかじめご了承ください。

「連日の猛暑、それに猛烈な台風 11 号の接近に負けず恐れず、ひたすらクラブ公式訪問に勤める岡本ガバナーはじめ随同行の御一同のご苦勞に感謝し、歓迎の意を表し、スマイルします。」